


2016年度

 クリスマス

子どもニュース

No. 13

2016.12.2 発行

金城学院幼稚園



今週の礼拝では、アドベントクランツの2本のろうそくに火が灯りました。園庭で遊んでいても遊戯室でおこなわれている“ハレルヤ”が気になったり、真剣にプレゼント（あ、これはまだヒミツ!?!）づくりをしたり、クリスマスブックを持って集まり讃美歌を歌ったり…子どもたちが4本目のろうそくが灯る日を待ち望んでいる!そんなところが伝わってくるこの頃です。

先週持ち帰った献金箱、作ったとき持ち帰るときに「献金って?」「どうしてするのか?」「どんなときにするのか?」という話をしました。金額の多少は関係ありません。神さまへのたくさんの「ありがとう」をおささげいただければと思います。ご家庭でも神さまからの恵みに目を向け、子どもたちと共に祈るひと時であってほしいと願っています。おささげ頂いた献金は、日本や世界で災害や病気、貧困等のために苦しむ人たちのために使ってもらえるよう、年長の子もたちと話し合っって送金先を決めていきたいと思ひます。決定いたしましたら掲示板でお知らせいたします。

さて、今回の子どもニュースでは各学年の“ハレルヤ”の様子をお伝えします。初めての年少さんも、今年からしっかりと役割を担う年中さんも、憧れの讃美礼拝を待ちわびる年長さんも、一人ひとりがそれぞれの思いを抱いて“ハレルヤ”(アドベント)の時を過ごしていることを感じていただけますように…。

あきこ



年長さん、ハレルヤ始まりました！！

クリスマスブックを一番初めにもらった年長さん。クラスに戻ってからそのクリスマスブックを羨ましそうに見ていた年中さんと、それは何?!という表情で見ていた年少さんの姿が印象的でした。とにかく年長さんはクリスマスブックをもらったことが嬉しくて、赤い線が引いてある自分のセリフや歌をじっと見ていました。もらった後、すぐにクリスマスブックに色塗りする子もいました。

「今日ハレルヤある?」とハレルヤを心待ちにしている子ども達。「今日のハレルヤは、マリアさん、ヨセフさん・・・・・・」と保育者が伝えると、「やったあー。今日私ハレルヤ〜!!」と喜ぶ年長さん。これほどまでに楽しみにしてくれると、こちらも嬉しくなります☆

ハレルヤでは遊戯室のカーテンをすべて閉め、灯りはスポットライトの灯りだけ。薄暗く、まるで馬小屋の中にいるような雰囲気の中で、ハレルヤを行います。遊戯室の雰囲気がいつもと違うと感じるようで、子ども達の緊張感も伝わってきます。セリフや歌を覚えている子も、いざ自分の番になると緊張するようで、声が普段より小さくなったり、早口に言ってしまうこともまだまだあります。自分のセリフが終わると、あくびをしたり、ごそごそしたりと一気に緊張感から解放され、ホッとした表情を見せる子もいます(笑)ハレルヤの中で「○○ちゃんの声、きれいだった」「○○くんかっこ良かった」などお互いの良いところを認め合うところも年長さんのステキなところ です。

また絵本の部屋では、ハンドベルの役の子ども達が心を一つにして頑張っていてステキなベルの音色を奏でています。うっかり指揮をする保育者を見るのを忘れ、音が出ないこともあるようですが(笑)、讚美礼拝当日は、ハレルヤ以上にきれいな音を聞かせてくれると思います。

ハレルヤを通して自信をつけ、仲間同士励まし合いながら、自分の与えられた役をしっかりと担ってもらいたいと思います。そして讚美礼拝では心を込めて神さまに礼拝を捧げたいと思います。

Aki♡





~ Christmas にむけて ~

「今日のお話は、天使さんが来たところの続きだよね？」

「今日はハレルヤ？（それともプレゼント作り？）」

「もう1番も2番も覚えたよ」

そんな言葉が聞こえてくる年中さん達。



クリスマスを迎えるにあたり「クリスマスって何の日？」というお話から始め、それは「イエスさまがお生まれになった日」ということを知りました。その後イエスさまがどのように誕生したのか、その様子を少しずつお話しています。

また、神様からイエスさまという最高のプレゼントを頂いた私たちも、大好きな人にプレゼントを贈ろうと、プレゼントを作っています。何を作っているかはまだヒ・ミ・ツ！ですが。

そして、クリスマス讚美礼拝で聖歌隊という役を全員で担うため、讚美歌を練習したりしています。（このように、クリスマス讚美礼拝に取り組む活動を『ハレルヤ』の時間と言っています）

これらのどの活動にも喜んで参加をする子もいれば、プレゼント作りは難しいからちょっといやだな、歌の練習つまらない、お話をじっと聞いているのは苦手・・・などなど一人一人の取り組みはやはりいろいろです。しかし、不得意なこと・苦手なことから目をそむけるのではなく、ひとりひとりの取り組み方は違っても、そこに向かっていく気持ちをみんなでも共有したいと、願っています。

先日の『ハレルヤ』の時間はというと・・・歌う前に発声練習をし、いい声を出すための3つのポイント（3つとは何か、お子さんに聞いてみて下さいね♡）を話し、そしてなんととっても嬉しい気持ちで、笑顔で歌おう！とみんな素敵なニコニコ顔で聖歌隊さんだけで歌う歌を練習しました。最後に『クリスマスブック』を一人ずつもらって大喜び！！「やった～！私のクリスマスブック！」「見てみて！私のココに線が引いてあるよ！」と、見せ合っこ。（年中児はみんな一緒なのにね♡）年長児は自分の役の一つ一つに下線が引いてあり、たった一つしかない大切な『クリスマスブック』であることを見聞きしていたのですね。そしてクラスに戻ると、早速表紙に色塗りしていた年中さん達。すでに年長さんが塗っていたのを見て憧れていたのでしょうか！こんな小さな事柄にも縦割りの継承がなされていくのですね。ともに育つ・気持ちを共有していくとはこういうことなのだと、あらためて感じた出来事でした。

Chibser

わんしょうあつまり

「クリスマス」という言葉は、子どもたちをワクワクさせるものです。そして、年少さんにとっては、この幼稚園で初めて迎えるクリスマス！「今日から、クリスマスについてのお話をしていくよ」という保育者の言葉に、目を輝かせた子どもたちが多くいました。

年少さんの中には、「クリスマス＝サンタさんからプレゼントをもらえる日！」と思っている子も多く、まずはクリスマスとはどんな日であるかをお話するところから「ハレルヤ」は始まりました。

クリスマスってどんな日？

世界で最初のクリスマスであるイエスさまが生まれた時のことを、年少さんにも分かりやすいように、紙芝居を使いながらお話ししました。年長さんがページの時に歌う曲と共にお話を進めていくと、ずっと静かになり食い入るように紙芝居の場面を見つめていました。

クリスマスのお話は、1回でまとめて行うのではなく、年少さんが聞き易いように理解し易いように4回に分けて少しずつ行います。新しい話を始める前に、その前にしたお話を振り返る〇×クイズを行ってみました。



問題：イエスさまの生まれた日は、お正月である。

ばつー！！ クリスマスだよー！

と元気に返してくれる子どもたち。
中には、



問題：イエスさまが生まれたのは……

うまごやー！！

と問題を最後まで聞く前に答えが飛び出てくることも。本当のクリスマスを少しずつ知ることができた年少さんでした。

